

2023年度自己評価(スタッフ) 児童発達支援 KID ACADEMY 伏見桃山校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制	1	子どもが活動するスペースは、適切である	○			活動内容に合わせて、スペースを確保して支援しています。
	2	職員の配置は適切である		○		厚生労働省の指定基準を守り運営している。
	3	サービスを提供する時間帯は適切である	○			お子様に合わせて、利用時間の提案など適宜させて頂いています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)がスタッフ間で共有できている	○			スタッフ間での意見交換は活発に行い、共有しています。
	5	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	○			本部研修に参加し、参加者がアウトプットするなど全スタッフのスキルアップを図っています。今後も全スタッフ資質向上の為に努めて参ります。
	6	アセスメントを適切に行い、子ども・保護者のニーズを分析し、支援している	○			定期的に、また、必要性を感じられた場合には随時面談を行い、保護者様のニーズに合わせた支援を心がけております。
活動プログラム	7	個々のカリキュラム立案をチームで実施できている	○			毎月にお子様の課題について全スタッフで話し合い、カリキュラム立案に努めています。
	8	カリキュラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化しない様、季節に伴ったカリキュラム立案や、お子様の発達段階に合わせてスタッフ間で協議し、実行しております。今後も固定化しない様強化して参ります。
	9	子どもの状況に応じたカリキュラムを提供している	○			お子様の課題を明確にし、必要なカリキュラムを組ませて頂いています。また、当日のお子様の様子に合わせて臨機応変に対応させて頂いております。
	10	子どもの状況に応じて、個別・集団のカリキュラムを適宜組み合わせ支援している	○			お子様の発達段階や保護者様のご要望に応じて組ませて頂いております。
	11	カリキュラムについての研修等を定期的実施している	○			本部研修や新人研修などを実施し、共有点を見出し、日々の支援に努めております。
	12	カリキュラム開始前にスタッフ間で打ち合わせし、支援内容の共有及び役割分担が行われている	○			毎朝、ミーティングする時間を設けその時のお子様の状態に合わせ支援内容の決定、役割を分担しております。
	13	スタッフ間で支援の振り返りを行い、ニーズ・課題などの共有ができています	○			毎朝のミーティングだけではなく、支援後のミーティングや、モニタリング会議を設定し、随時共有できる場を設け、全スタッフで共有しております。今後も怠ることのないよう努めてまいります。
	14	日々の支援に関し、日報等で正しく記録を取っている	○			支援内容を詳しく記載し、個別ファイルに保管し、退所後5年まで厳重に保管しております。

適切な支援	15	定期的にモニタリングを行い、モニタリングの重要性を理解している	○			お子様の課題の明確化や、1人1人に合わせた支援を行うための職員間で情報を共有する場として重要視し、取り組んでおります。
	16	ケース会議等の機会を設けている		○		新人研修ではそれぞれの特性に合わせたケース会議を行っている。その他必要に応じて職員間で各事例に対しての支援方法などを話し合う機会を設けています。
	17	日々の支援に対し、スーパーバイズするスタッフが整備されている	○			常にいるわけではないが、本部研修の際に日々の支援に対してのアドバイスを受ける機会があります。
関係機関・保護者との連携	18	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者・関係機関と連携した支援を行なっている		○		関係者、関係機関からの連絡があればいつでも対応できるように体制を整えております。
	19	各関係機関が主催するサービス担当者会議等に参画している		○		長岡京市や京都市の一部のお子様に対しての担当者会議に出席したり、支援員との連携を行っています。
	20	保育所・認定こども園・幼稚園等と情報の共有を積極的に行なっている	○			保護者様に同意を得た上で、園の訪問を行い普段の活動の様子を把握し、園の先生方と児童の課題や今後の方針などについてお話しする機会を設けております。
	21	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合、協力医療機関等と連携・連絡体制を整えている			○	現状では医療的ケア児に対しての受け入れ態勢は整えていないが、必要があれば整えていきたいと考えています。
	22	他事業所との連絡体制を整えている	○			他事業所からの連携の打診をいただいておりますので、その際にはお子様の状況について連携を取っております。
	23	日頃から子どもの状況を保護者に伝え、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時の申し送りの際や日報への記載、定期的な面談にて情報共有し、共通理解を図っております。
	24	保護者の対応力向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム等の支援を行なっている			○	家庭支援プログラム等を行っていないが、保護者様に強制にならないよう配慮しながらお子様への対応について保護者勉強会等にてお伝えをしております。
	25	保護者会等を開催し、保護者同士の連携に対する支援をしている	○			茶話会と言う形式で保護者様同士の情報共有する機会を設定させていただいております。
	26	保護者からの子育て等の悩みについて適切に応じ、必要な助言・支援をしている	○			基本的にはお話を聞いた職員が対応はしているが、他の職員の意見も必要に応じてお伝えできるよう対応させて頂いております。
	27	定期的に会報等を発行し、活動概要等を保護者に対し、発信している	○			月一回マンスリーレポートを作成し、子育てコラムやその月のお子様の様子が分かる写真などを載せ、各保護者様に配布しております。

	28	子どもや保護者との意思疎通・情報伝達のための配慮をしている	○			お子様の支援中はもちろんのこと、送迎中のお子様との関わり、送迎時の申し送りの際や定期的な面談にて保護者様とも意思の疎通を図らせて頂きたいと考えております。
説明	29	契約時、重要事項説明を丁寧に行なっている	○			一つ一つの項目を読み上げながら、保護者様と一緒に確認し説明を行なっております。
	30	個人情報の取り扱いに十分注意されている	○			鍵付きロッカー内で保管するなど取り扱いには注意しております。
非常時等の対応	31	緊急時の対応等の連絡体制が整備されている	○			緊急連絡先名簿を作成しております。
	32	緊急時の対応等のマニュアルがスタッフ間で周知されている	○			緊急時の対応のマニュアルも存在し、防災訓練にて周知している。
	33	災害発生時の避難場所等を把握している	○			避難訓練を行い、一時避難場所や二次避難場所、避難経路について全職員で実際に行動し、対策を講じております。
	34	ヒヤリハットを作成し、事業所間で共有している	○			ヒヤリハット事例と判断した場合は、各校でその都度ヒヤリハットを作成しております。また、全校ミーティングの際には事例・対応・今後の再発防止を図るため協議し、事例の内容についても共有しております。
	35	虐待を防止するため、職員の研修等で情報の共有をしている	○			年に一度、人権及び虐待防止について研修を実施しております。